



# わたなべ 渡辺 けんじろう

日本維新の会 西宮市議団

議員定数削減

議員報酬削減

保育士

経験を生かす!

実績

◇ 経歴：市議会議員2期目。議会運営委員長、会派幹事長を経験。 ◇ 地域活動歴：西宮市消防団員、西宮青年会議所特別会員 同志社大学文学部英文学科卒業後、学習塾講師や市内塩瀬地区などで保育士として勤務。 ◇ 趣味：吹奏楽（ファゴット）、ベース

## 【Contents】

◇ 令和6年度決算 ◇ 財源確保→提案により市有地売却予定額が約10.8億円増加 ◇ 令和7度予算編成に対する政策提言

## 令和6年度西宮市一般会計決算

実質単年度収支

# 約15億円赤字!

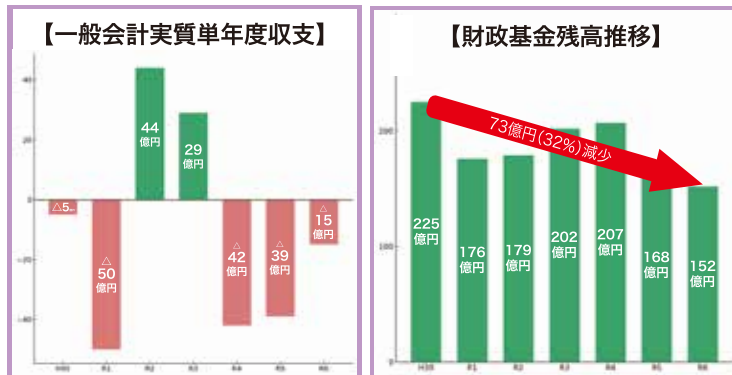
昨年度の西宮市一般会計決算における実質単年度収支は約15億円の赤字でした。過去7年のうち5年が赤字、他の2年は黒字ですが、これは特殊要因によるものです。

歳出の特徴として、経常的収入に占める人件費比率の高さがあります。昨年度は31.4%、令和5年度は31.6%で類似都市平均の23.5%と比較して高い状況です。また、必要な歳出を行うためには、市の貯金である財政基金を使わざるを得ず、平成30年度と比較して基金残高は32%減少しています。

この状況に対して、財政構造改善の取組の一環として職員数を削減する計画が市にはあります。しかし、それに伴う事務事業の削減や見直しが十分とは言えず、職員一人当たりの業務量は増大する傾向にあります。

高齢社会の進行により福祉関連の歳出は今後も増加が見

込まれる一方、それを補えるほど歳入が増加する見込みはなく、限られた財源による選択と集中が求められます。西宮市が市民にとって住み続けたいまちであるためには、財政構造改善とともに、「令和の文教住宅都市」の姿を描き直す必要があります。



## 一般会計歳出決算額は2045億4793万円

私が委員長を務める建設常任委員会は、決算特別委員会の際には分科会として、都市局・土木局・上下水道局の施策や事業について調査・審査を行います。主な項目は以下のようになります。

土木局→「道路、水路、公園などの整備及び維持管理」、「交通安全対策など安心して生活ができるまちづくり」

都市局→「市街地形成に係る事務」、「開発・建築行為に対する指導・許認可」、「市営住宅の維持管理、建替え、長寿命化改修」

**【都市局】**  
決算38.4億円  
予算44.4億円

**【土木局】**  
決算83.1億円  
予算99.7億円

住宅費(市営住宅管理・整備等)  
**27.3億円**  
(予算29.3億円)

道路橋梁費  
**32.0億円**  
(予算40.2億円)

公園費  
**25.2億円**  
(予算27.4億円)